

地域社会のために

【行動憲章9】 私たちは、事業活動を通じて地域社会に貢献します。

高い公共性を有する鉄道事業を営む当社にとって、今後も持続的に発展していくためには沿線を中心とする地域社会との共生は重要な使命です。今後も当社では事業活動を通じて、地域社会に貢献できる活動を継続していきたいと考えています。

パートナーシップ大賞を受賞

大津鉄道事業部では、「地域に愛され信頼される鉄道でありたい」という思いから、地域社会と連携した活動に継続して取り組んでいます。平成19年11月、大津市のNPO「石坂線21駅の顔づくりグループ」との取り組み「点から線へ、線から面へのまちづくり事業」がパートナーシップ大賞(主催:特定非営利活動法人パートナーシップサポートセンター、共催:日本財団)を受賞しました。



▶パートナーシップ大賞

● 駅の顔づくり

駅での掲示板づくりから共同の取り組みが始まりました。石坂線沿線の中学・高校の掲示板を設置し、生徒会新聞が掲示されるなど、地域に根づいたものになっています。今では幼児から高齢者層にまで掲示の幅が広がっています。



▶日吉中学校の掲示(松ノ馬場駅)



▶石山高校の掲示(石山寺駅)

Message

私たちは、地域のシンボル「電車」をまちづくり・コミュニケーションの拠点にする活動を行っています。「石坂線」は私たち地元住民にとっては空気や水と同じように暮らしになくてはならない存在であり、自分たちに自己実現の機会を与えてくれる場でもあります。京阪電鉄さんにいろいろな協力をいただき活動を続けています。いろんな方から「いつも楽しみにしてます」というお声をかけていただけることをとても嬉しく思っています。今後も地域に愛される鉄道であってほしいと願っています。



福井 美知子さん
【NPO 石坂線21駅の顔づくりグループ 代表】

● 石坂線文化祭

石坂線では「日本で一番細長い美術館」と題し、中高・大学生、社会人といった幅広い層の方々のアート作品を車両内に展示し、展覧会を開催しました。



▶車内

出発式▶



▶車両

▶ポスター

● 21文字の青春メッセージ

「電車と青春、初恋」をテーマに、21文字のメッセージを募集、初年度約2,300件、次年度約2,600件の応募があり、沿線の方以外にもたくさんのご応募をいただきました。選考には歌人の依万智さんにもご参加いただきました。



▶石坂青春号

好きもさよならも同じ駅

山下 祐輝さん(東京都)

あなたと乗った三年間
各駅だけと特急だった

奥川 晃好さん(和歌山県)



▶最優秀作品「石坂洋次郎 青春賞」
(左:19年度、右:20年度受賞作)